

# 社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区における防災安全を促進する公共空間の整備  
(防災・安全)

平 成 2 8 年 3 月 2 3 日

神 奈 川 県 川 崎 市

社会資本総合整備計画

平成28年3月23日

計画の名称	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区における防災安全を促進する公共空間の整備（防災・安全）	重点計画の該当	○
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）	交付対象	川崎市
計画の目標			

土地区画整理事業により、都市計画道路等の公共施設を中心としたバリアフリー化を含む総合的な基盤整備を行うなど、安全・安心なまちづくりを推進する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・都市基盤整備率を75%に増加させる。
- ・まちづくり勉強会等への参加者の満足度を70%以上得る。
- ・駅前広場に結節する幹線道路の整備及びバリアフリー対策を推進し、15%整備する。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
		(H29末)	(H31末)	
都市基盤整備率 土地区画整理事業による市街地環境改善の効果を、特に防災上の観点から建物移転棟数で評価する。 [建物移転実施棟数](棟) / [建物移転棟数総数] 1,358棟	53% (H26末)	—	75%	
住民との協働によるまちづくりの評価 住民との協働によるまちづくりの過程及び成果を、まちづくり勉強会等への参加者の質的な満足度(アンケート調査等)により定量的に評価する。 まちづくり勉強会等が「有意義であった」「非常に有意義であった」と回答した人数(人) / 全回答者数(人)	—	—	70%	
バリアフリー経路の整備率 川崎市バリアフリー基本構想に基づき、地区内においてバリアフリー経路となっている整備予定路線の整備実施延長で評価する。 幹線道路(※)整備延長(m) / 幹線道路(※)残事業整備延長(m) ※バリアフリー経路に限る。	—	—	15%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,783 百万円	A	3,783 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合	0.0%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	-------	---	-------	------------	------

交付対象事業

A 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
												H27	H28	H29	H30	H31			
A-1	街路	一般	川崎市	直接	川崎市	区画	改築	0.5	登戸地区 (旧通常費対象路線)	A=37.2ha (都市計画道路及び駅前広場新設整備)	川崎市						2,642	—	
A-2	街路	一般	川崎市	直接	川崎市	区画	改築	0.55	登戸地区 (旧地域活力基盤創造交付金対象路線)	A=37.2ha (都市計画道路及び駅前広場新設整備)	川崎市						1,141	—	
												合計					3,783		

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
										H27	H28	H29	H30	H31					
												合計						0	

C 効果促進事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
										H27	H28	H29	H30	H31					
												合計						0	

社会資本総合整備計画

平成28年3月23日

計画の名称	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区における防災安全を促進する公共空間の整備（防災・安全）			重点計画の該当	○
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）	交付対象	川崎市		
計画の目標					

土地区画整理事業により、都市計画道路等の公共施設を中心としたバリアフリー化を含む総合的な基盤整備を行うなど、安全・安心なまちづくりを推進する。

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
										合計	0				

その他関連する事業

計画等の名称 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の活性化															
事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
								H27	H28	H29	H30	H31			
1-A'-1	区画整理	一般	川崎市	直接	川崎市	登戸土地区画整理事業	A=37.2ha	川崎市						1,036	
1-A'-2	道路	一般	川崎市	直接	川崎市	登戸地区（旧通常分）	都市計画道路整備 A=37.2ha	川崎市						87	
1-A'-3	道路	一般	川崎市	直接	川崎市	登戸地区（旧地活分）	都市計画道路整備 A=37.2ha	川崎市						236	
1-B'-1	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	下水道事業（登戸地区）	区画整理区域内の下水道整備 A=37.2ha	川崎市						5	
1-C'-1	計画・調査	一般	川崎市	直接	川崎市	まちづくり活動推進事業	街並み形成活動推進に係る検討業務	川崎市						0	

計画等の名称 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の安全・安心なまちづくり															
事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
								H27	H28	H29	H30	H31			
A'-1	区画整理	一般	川崎市	直接	川崎市	登戸土地区画整理事業 (都市再生区画整理事業)	A=37.2ha	川崎市						7,688	
B'-1	下水道	一般	川崎市	直接	川崎市	下水道事業（登戸地区）	区画整理区域内の下水道整備 A=37.2ha	川崎市						38	
C'-1	計画・調査	一般	川崎市	直接	川崎市	事業評価検討調査	事業評価に係る調査検討業務	川崎市						5	
C'-2	計画・調査	一般	川崎市	直接	川崎市	まちづくり活動推進事業	街並み形成活動推進に係る検討業務	川崎市						12	

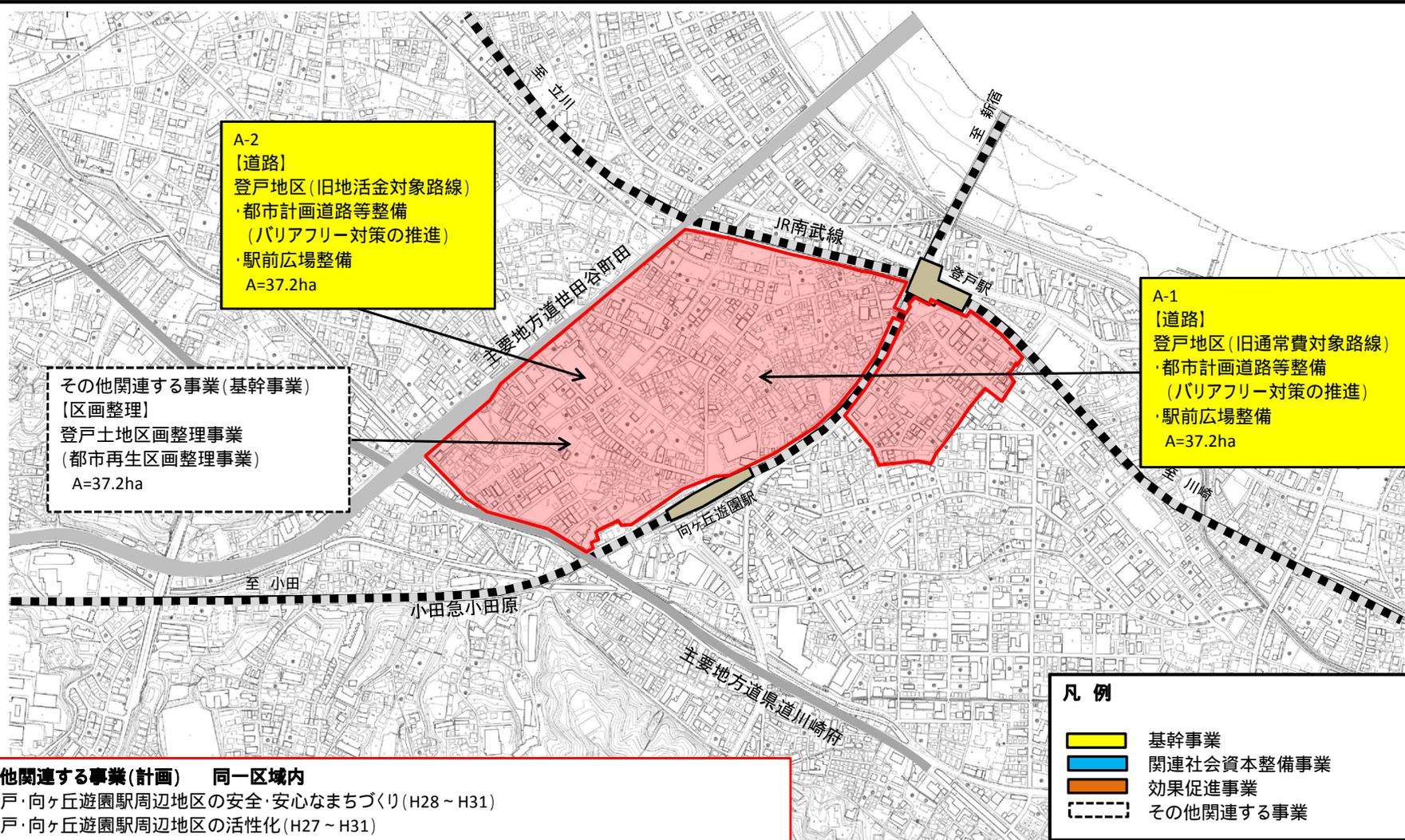
A'	9,047 百万円	B'	43 百万円	C'	17 百万円	D'	0 百万円	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C') + (D+D'))$	0.13%
----	-----------	----	--------	----	--------	----	-------	------------------------------------------------	-------

計画の名称 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区における防災安全を促進する公共空間の整備（防災・安全）

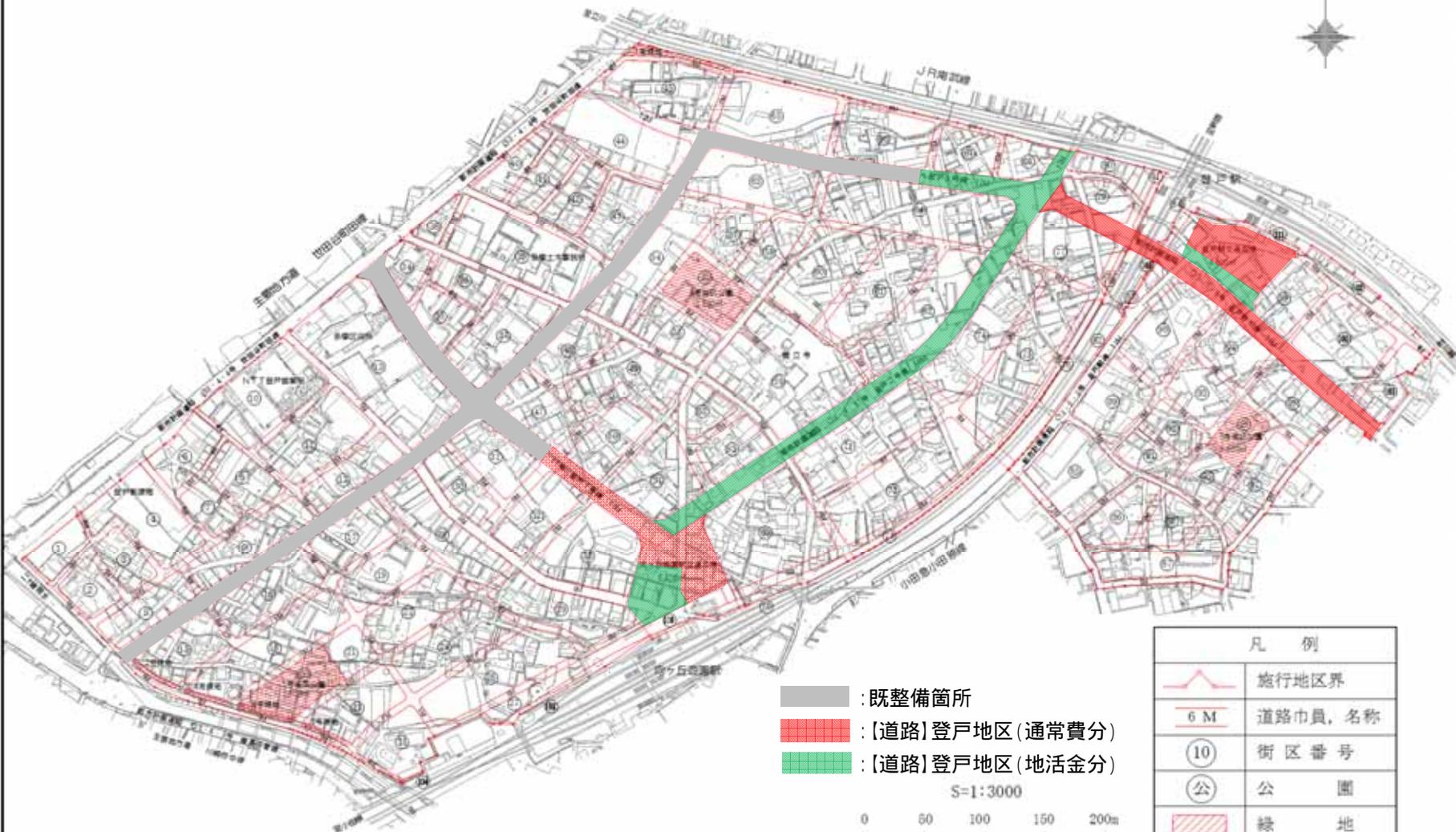
計画の期間 平成28年度 ~ 平成31年度（4年間）

交付対象

川崎市



# 川崎都市計画事業 登戸地区区画整理事業 設計図



- 既整備箇所
- 〔道路〕登戸地区(通常費分)
- 〔道路〕登戸地区(地活金分)

S=1:3000



凡 例	
	施行地区界
	道路巾員, 名称
	街区番号
	公園
	緑地

# 防災・安全交付金チェックシート

計画の名称：登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区における防災安全を促進する公共空間の整備(防災・安全)

事業主体名：川崎市

当該計画はその他関連事業との相互連携により、目標の達成及びその効果を発現するものであるため、その他関連事業を含めた、事前評価を行う。

【その他関連事業】

社会資本総合整備計画「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の安全・安心なまちづくり」(H28～H31)

社会資本総合整備計画「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の活性化」(H27～H31)

チェック欄

## I. 目標の妥当性

### ①上位計画等との整合性

1) 上位計画等(川崎市総合計画及び川崎市都市計画マスタープラン等)と整合性が確保されている。 ○

### ②地域の課題への対応

1) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。 ○

## II. 計画の効果・効率性

### ③目標と定量的指標の整合性等

1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。 ○

2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。 ○

### ④定量的指標の明瞭性

1) 指標・数値目標は、市民にとって分かりやすいものとなっている。 ○

### ⑤目標と事業内容の整合性

1) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。 ○

### ⑥事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性

1) 事業連携等による相乗効果等が得られるものとなっている。 ○

## III. 計画の実現可能性

### ⑦円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)

1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。 ○

2) 計画について住民等との間で合意形成がされている。 ○

3) 事業実施のための環境整備が図られている。 ○

### ⑧地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)

1) まちづくりに向けた機運がある。 ○

2) 住民等の活動及び関連他事業との連携等による事業効果発現が見込まれる。 ○